

未来を応援、 夢わくわくスクール！

— キャリア教育事業 —

問指導課 ☎0183

各校のキャリア教育を推進し、児童・生徒の「自分が好き、ふるさと十和田市が好き」という気持ちを育てることを目的に、本年度から市立小・中学校全校でスタートした本市独自の事業です。

今号では、下切田小学校と甲東中学校の取り組みを紹介します。

下切田小学校 ふるさと切田での学びを糧に、感謝と誇りと希望をもち、新しい世界に飛び込んでいくことができる児童の育成

「学級園」はビニールハウス

児童の毎朝の日課は、学校のビニールハウスで栽培している野菜の水やりと育ち具合のチェック、そして収穫です。収穫した朝採りの野菜は、いろいろな料理に変身します。子どもたちは、漬物などのほか、野菜をふんだんに使った創作レシピにも挑戦しながら、夢中になって調理しました。

自分たちの手で植え、育て、収穫し、食べる。「食べ物を粗末にしない」という気持ちで、ごく自然に育まれています。



収穫した野菜を調理する児童

野月 龍杏さん（4年）

たくさんとれたピーマンを使ってピザ風おつまみときんぴらを作りました。おいしくできてうれしかったです。

畑山 紫穂さん（6年）

自分たちで育てた野菜を調理して、おいしいと言ってもらえるのがとてもうれしいです。

学校林体験学習

本校では、1年生の時に学校林の中から一人一本の「自分の木」を決め、卒業するまで木の高さや幹の太さなどの観察をします。また、鹿の食害からヒバの若芽を守るために、(有)小笠原林業の小笠原博幸さんの指導の下、秋にネットをかけ、春はネットを外す作業を行います。

令和3年の春、学校林での体験学習で大きな木を見上げる子どもたちの前に現れたのは、木を伐採・裁断するための重機でした。5分もかからずに根元から伐採。枝や皮が取り払われ木材へ。子どもたちがまばたきを忘れるほど迫力満点の作業により、林業の魅力に十分触れることができました。

野月 仁さん（2年）

実際に伐採用の重機に乗せてもらいました。いろいろなボタンがたくさんあって、楽しかったです。また木を切ってみたいです。



<甲東中学校・生き方講話>生徒と対話する今院長

甲東中学校 学ぶことに意義を見だし、高い学習意欲をもって学ぶ生徒の育成

生き方講話

「夢」「目標」「志」をもって学ぶことの大切さを全校生徒で考えるために、八戸市民病院の今明秀院長を講師として迎え、「救急の刃」と題した講演会を開催しました。

苦米地 智子さん（3年）

折れない心というのは『しなやかな心』であるという言葉がとても強く心に残りました。どんなことにも耐える頑丈な心こそ、折れない心だと思っていた私にとって、その考えはまったく思い付きませんでした。救命救急のために、どんな事態にも対応しなければならない今先生のような心遣いを私もしていきたいです。そして、将来、社会人になった時それを忘れずに人と接していきたいです。

ふるさと出前きらめき講座

市の「ふるさと出前きらめき講座」を利用した学習で、生徒が4つのテーマから1つを選択し、講師による講話を聴き、十和田市の良さや課題、将来の十和田市のあり方と自身の生き方について考えました。

< 講座のテーマ >

- ▶ 認知症を正しく知ろう ▶ 聞こえないってどんなこと？
- ▶ 若いうちからがんを知ろう ▶ 薬の正しい使い方

山下 冬真さん（1年）

耳が不自由な人が買い物でお店の人と会話ができない時は、スマートフォンの通訳アプリや筆談、身振りなどによってコミュニケーションが取れることが分かったので、今回学んだ筆談や身振りによって、助けてあげたいと思います。

さらに、手話を覚えて使えるようになりたいです。



講師の小沢千枝子さんによる講話「聞こえないってどんなこと？」から聴覚の障害について学ぶ生徒

「『未来を応援、夢わくわくスクール!』キャリア教育事業」の各校の活動内容は、市ホームページに掲載しています。